

会員各位

岐阜県病院薬剤師会
会長 伊藤 善規

第 243 回岐阜県病院薬剤師会研修会開催のご案内

拝啓

時下、先生におかれましては、ますますご清祥のことと存じます。
さて、下記のとおり研修会を開催しますので、奮ってご参加頂きますようご案内致します。

敬具

記

日時：平成 21 年 7 月 12 日（日）午後 3 時 00 分より

場所：長良川国際会議場 5 階 国際会議室

岐阜市長良福光 2695 - 2 Tel (058) 296 - 1200

【内容】 総合司会 岐阜市民病院 薬剤部 後藤 勝敏

1、 会長挨拶

2、 会員発表

座長 東海中央病院 薬剤部 佐藤 嘉孝

1. 「薬剤業務委員会報告 -BSC を利用した病院薬剤業務推進のプロセサー」
薬剤業務委員長 白川病院 中嶋 信吾 先生
2. 「プレアボイド報告について -岐阜県病院薬剤師会の取り組みと現状-」
薬剤管理指導委員会 プレアボイドWG 岐阜市民病院 小林 健司 先生
3. 「疼痛コントロール不良のガン患者に関与した薬薬連携の実例
-病院薬剤師・保険薬局薬剤師それぞれの立場から-」
岐阜大学医学部附属病院 薬剤部 岡安 伸二 先生
岐阜県総合医療センター 薬剤部 谷沢 克弥 先生
岐阜東調剤薬局 神野 円 先生

参加費：薬剤師会会員 500 円

非会員 2000 円

* 当研修会は岐阜県病院薬剤師会研修制度及び日本薬剤師研修センター研修制度に該当する研修会です。

主催 岐阜県病院薬剤師会

学術講演会のご案内

謹啓

時下、先生におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、このたび下記のとおり学術講演会を開催させていただき運びとなりました。
ご多忙中誠に恐縮に存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席賜りますようご案内申し上げます。

謹白

記

日時：平成 21 年 7 月 12 日（日）午後 4 時 00 分より

場所：長良川国際会議場 5 階 国際会議室

岐阜市長良福光 2695-2 TEL (058) 296-1200

■製品紹介

『クラビット 最新の話題』

第一三共株式会社

■特別講演

座長 大垣市民病院 薬剤部長 安田 忠司 先生

『抗菌薬の適正使用を考える

－PK/PD 理論に基づいた投与方法－』

奈良県立医科大学 感染症センター 教授 三笠 桂一 先生

共催 岐阜県病院薬剤師会
第一三共株式会社

※ 講演会終了後、情報交換会を計画しております。

「抗菌薬の適正使用を考える」

—PK/PD理論に基づいた投与方法—

奈良県立医科大学感染症センター 三笠桂一

抗菌薬の繁用による耐性菌の増加に対し、抗菌薬の適正使用を広く社会に推進していくことが急務である。抗菌薬の使用に関しては感染症の有無、感染臓器、原因微生物、抗菌薬の感受性、あるいは薬物動態や薬力学から投与方法や投与量などを考えなければならないし、使用期間は最短にしなければならず、基本的感染症診療の考え方の上にとった抗菌薬の適正使用が重要である。日本化学療法学会では、抗菌薬の適正使用を全国的に啓発・推進するために2007年に「抗菌化学療法認定医・指導医認定制度」を立ち上げた。その活動の一つとして全ての医療従事者に対する生涯教育の視点にとった抗菌薬適正セミナーの開催がある。抗菌薬適正使用には抗菌薬の知識だけではなく感染症診療の基本を習得することが大切であり、さらに、抗菌薬を処方するのは感染症専門医に限らず、多くの診療科の医師や歯科医師である。そこで、感染症診療の基本的考え方や抗菌薬の適正使用について勉強の場を提供し、ひとりでも多くの医師・歯科医師の方に感染症診療の基本的考え方を今一度しっかりと勉強あるいは確認していただくことが抗菌薬の適正使用を社会的に推進させていくための最も近道で効果的方策であり、一人でも多くの先生方に参加して頂き日常臨床の抗菌薬適正使用推進に少しでも役立つことを願っている。一方、市中肺炎や気道感染症は感染症の中では日常診療上遭遇する機会の多い疾患であるが、治療方法をあやまれば重篤になることもある。そこで日本呼吸器学会からこれらの診療に関する基本的考え方としてガイドラインが出された。市中肺炎や気道感染症は頻度が高い疾患で受診する医療機関の種類も様々で、診療する医師も必ずしも感染症専門医や呼吸器専門医とはかぎらない。また、頻度の高い起炎菌である肺炎球菌やインフルエンザ菌でさえ耐性化がすすんでいる。こういった現状の中で、増加傾向にある耐性菌に歯止めをかけ、非専門医でも起炎菌を想定した適正な治療を行えるような標準的な治療法を打ちだし医療の質の向上に貢献できることを期待してこれらのガイドラインが作成された。この中には下気道の感染症に限らず上気道感染症も含め、特に急性上気道炎に対しても抗菌薬の適正使用を盛り込まれ、また、びまん性汎細気管支炎などの慢性下気道感染症に対するマクロライド長期療法という日本が誇るべき治療法も広く紹介している。ここではレスピラトリーキノロンも含めその内容を概説する。

また、新型インフルエンザが世界的に流行し、行政も含めた感染対策が問題となっているが、奈良県の対応も含めご紹介する。